

第2回 検定試験に関する実態調査 報告書

調査期間：2011年2月4日～2月7日

信頼と安心の検定を目指す



調 査 概 況

○教育基本法第3条(生涯学習の理念)には、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」とあります。この学習の成果を生かすためには、検定試験が重要な役割を担っていることは言うまでもありません。そこで文部科学省は、検定試験の質的向上および信頼性の確保を目指して有識者会議を設置し、『検定試験の評価ガイドライン(試案)』について(検討のまとめ)を平成22年6月に取りまとめました。このガイドラインでは、検定試験の評価および情報公開の必要性、評価の視点と内容、情報公開が望まれる項目などが示されており、これらについては検定実施団体や関係団体等の、民間主体による取組が重要との提言がありました。

○これを受けて、平成22年11月に関係者等による「検定試験の自己評価に関する研究会」(文部科学省オブザーバー)が立ち上げられ、検定実施団体が自己評価に取り組みやすいようにするための「検定試験の自己評価シート」が取りまとめられたところです。

○以上の経緯を踏まえ、本調査は全国1万名の検定試験受験経験者を対象として、受験者の視点から見た検定試験、ならびにその実施団体に関する意見等を把握することを目的に実施しました。

○本調査では、「自己評価を行う検定への安心度」、「第三者評価による検定への安心度」および「官公庁などが後援する検定への安心度」をはじめ、各種調査を行いました。

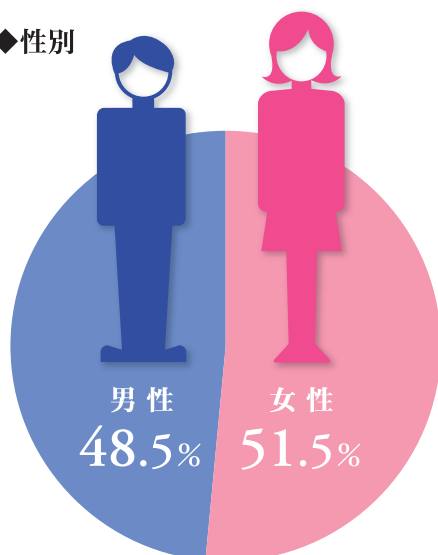
○「自己評価を行う検定への安心度」については、67.7%の方々が「とても安心度が増す」または「安心度が増す」と回答しております。また、「第三者評価による検定への安心度」は同73.7%、「官公庁などが後援する検定への安心度」は同75.7%という結果でした。

○その他、「検定試験の選択基準・理由」、「信頼できる検定かどうかの判断基準」および「受験するにあたって事前に知っておきたいこと」なども調査しました。

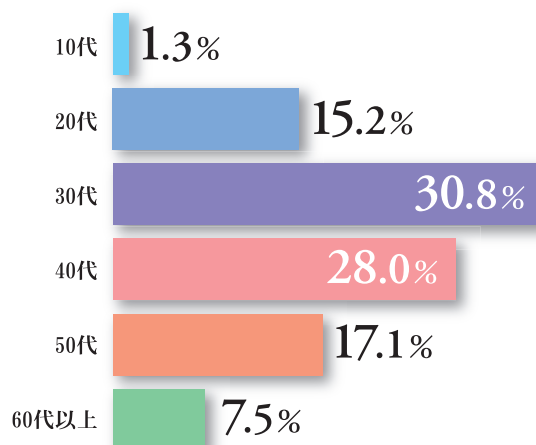
○検定受験者は総じて情報公開がされているなど安心して受験できる環境が整備され、社会において評価・活用される社会的通用性の高い検定試験を求めていることが窺えます。

1. 対 象 者 ●地域：全国 ●性別：男女 ●年齢：16歳以上
2. 調 査 方 法 株式会社メディアインタラクティブが運営するアンケート専門サイト「アイリサーチ」を用いたWebアンケート方式
3. 調 査 期 間 2011年2月4日～2月7日
4. 有 効 回 答 数 10,000サンプル(検定試験受験経験者)
5. 調査委託機関 株式会社メディアインタラクティブ

◆性別



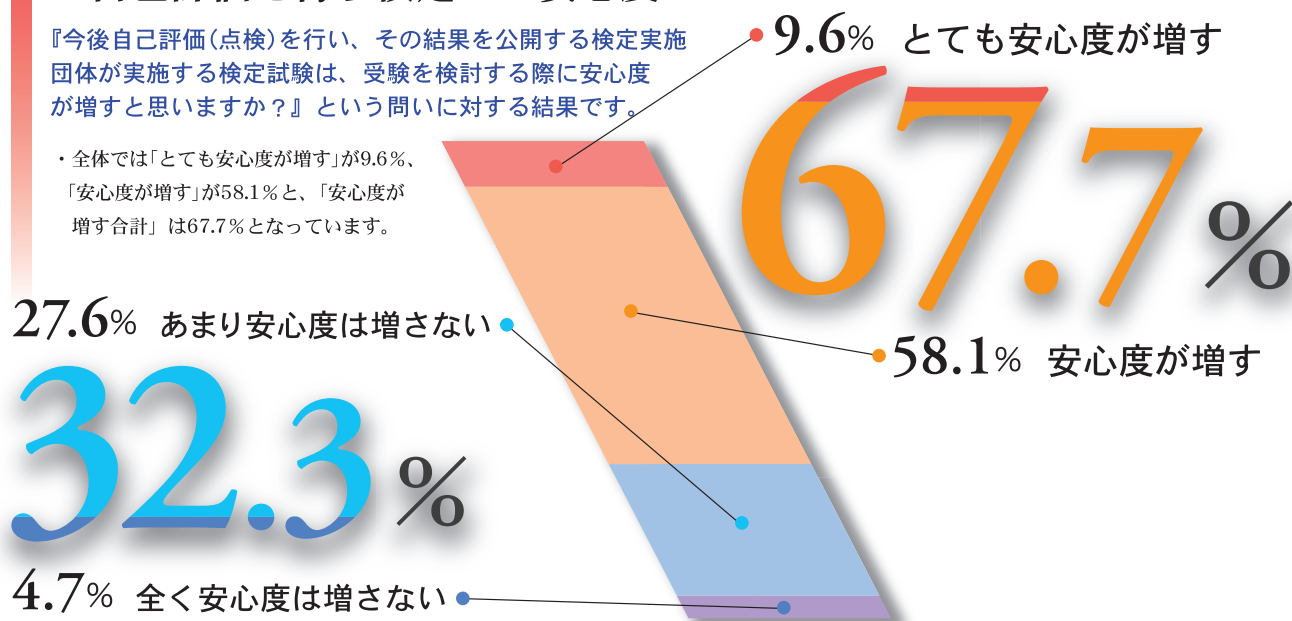
◆年代別



■自己評価を行う検定への安心度

『今後自己評価(点検)を行い、その結果を公開する検定実施団体が実施する検定試験は、受験を検討する際に安心度が増すと思いますか?』という問いに対する結果です。

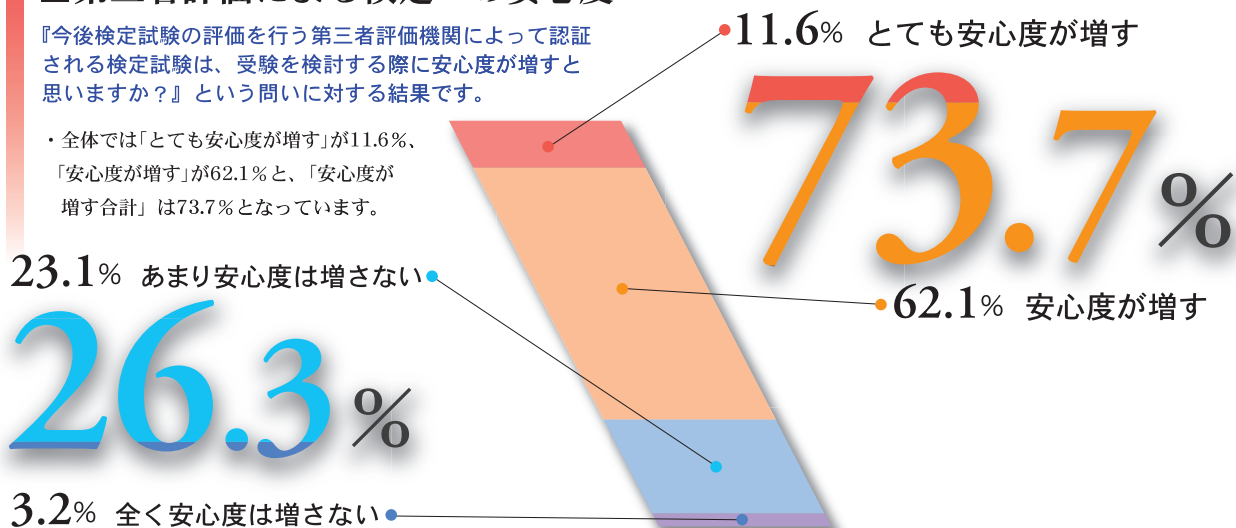
- ・全体では「とても安心度が増す」が9.6%、「安心度が増す」が58.1%と、「安心度が増す合計」は67.7%となっています。



■第三者評価による検定への安心度

『今後検定試験の評価を行う第三者評価機関によって認証される検定試験は、受験を検討する際に安心度が増すと思いますか?』という問いに対する結果です。

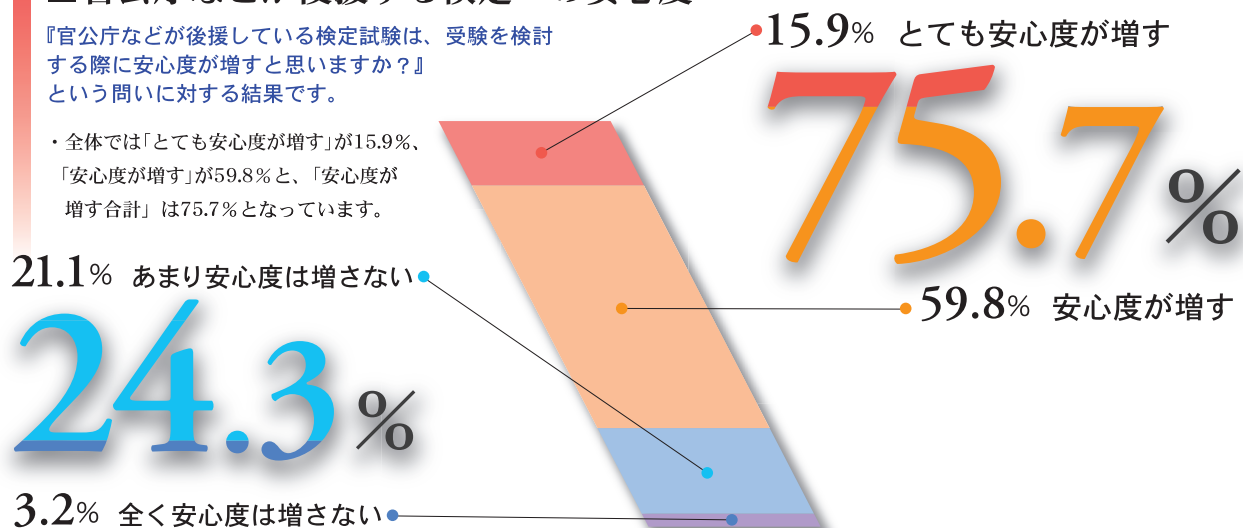
- ・全体では「とても安心度が増す」が11.6%、「安心度が増す」が62.1%と、「安心度が増す合計」は73.7%となっています。



■官公庁などが後援する検定への安心度

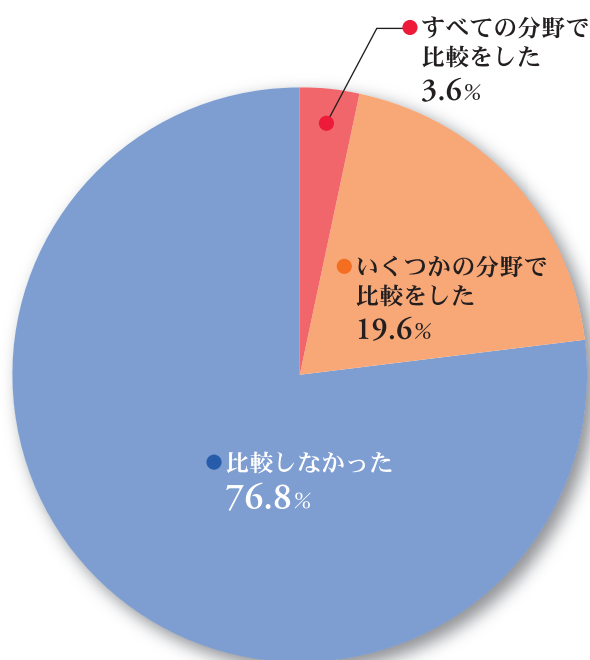
『官公庁などが後援している検定試験は、受験を検討する際に安心度が増すと思いますか?』という問いに対する結果です。

- ・全体では「とても安心度が増す」が15.9%、「安心度が増す」が59.8%と、「安心度が増す合計」は75.7%となっています。



■ 検定試験を受ける際、他の検定と比較したか

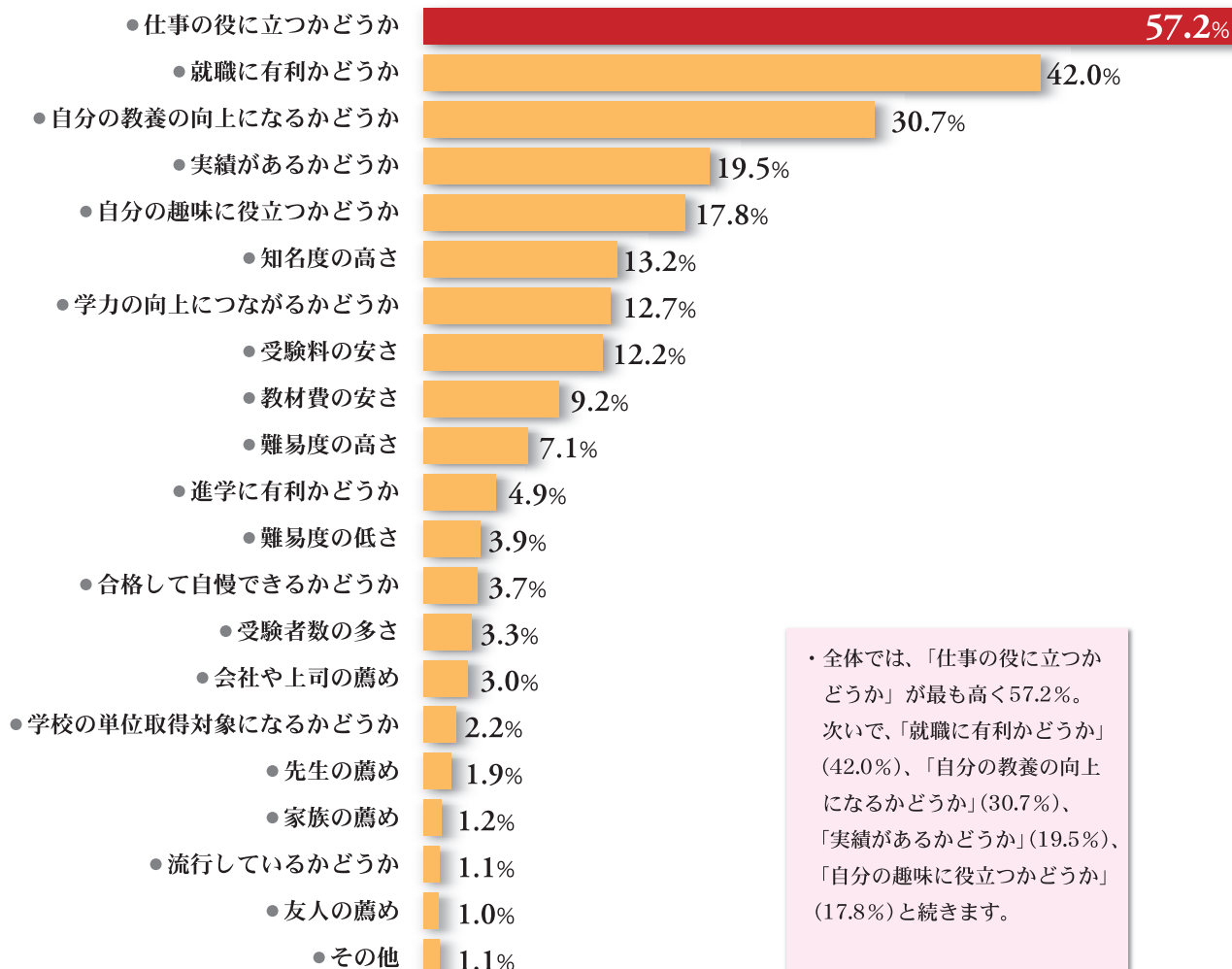
『検定試験を受ける際、同じ分野の他の検定試験と比較したか』という問いに対する結果です。



・全体では、「すべての分野で比較した」が最も低く3.6%。「いくつかの分野で比較した」(19.6%)、「比較しなかった」は76.8%に上る結果となりました。

■ 検定試験の選択基準・理由

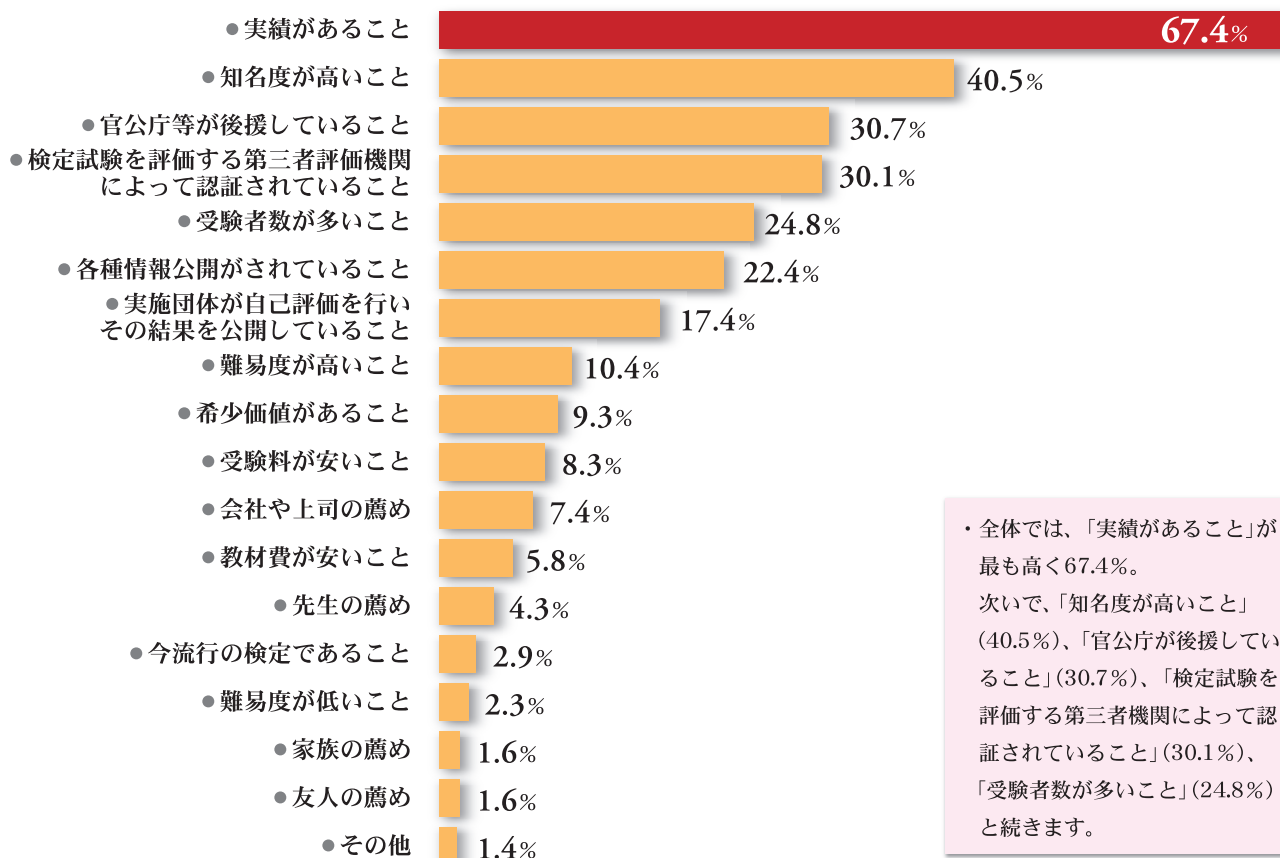
『受験したい検定試験分野に、複数の検定試験がある場合の選定基準や理由』という問いに対する結果です。
(複数回答)



・全体では、「仕事の役に立つかどうか」が最も高く57.2%。次いで、「就職に有利かどうか」(42.0%)、「自分の教養の向上になるかどうか」(30.7%)、「実績があるかどうか」(19.5%)、「自分の趣味に役立つかどうか」(17.8%)と続きます。

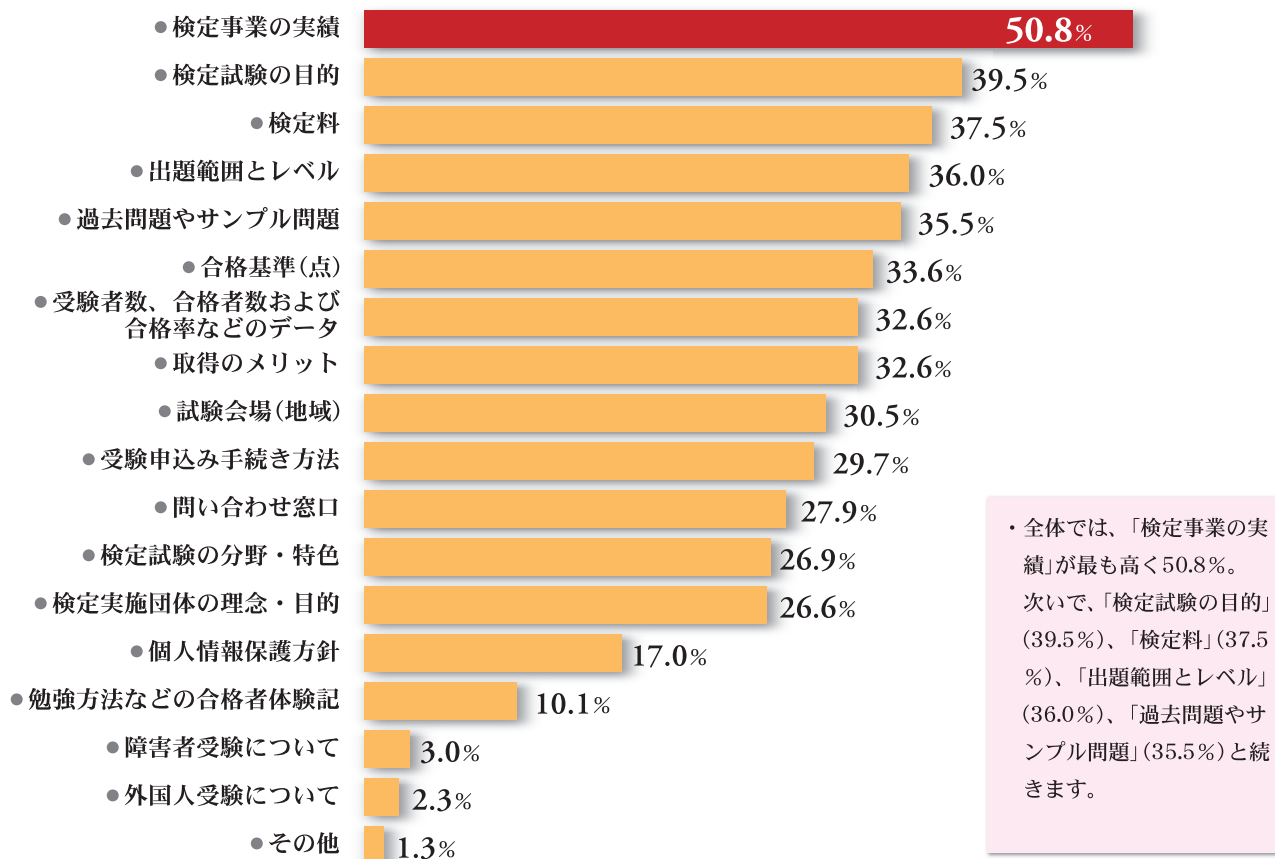
■信頼できる検定かどうかの判断基準

『その検定試験が、信頼できるかどうかの判断基準は？』という問いに対する結果です。（複数回答）

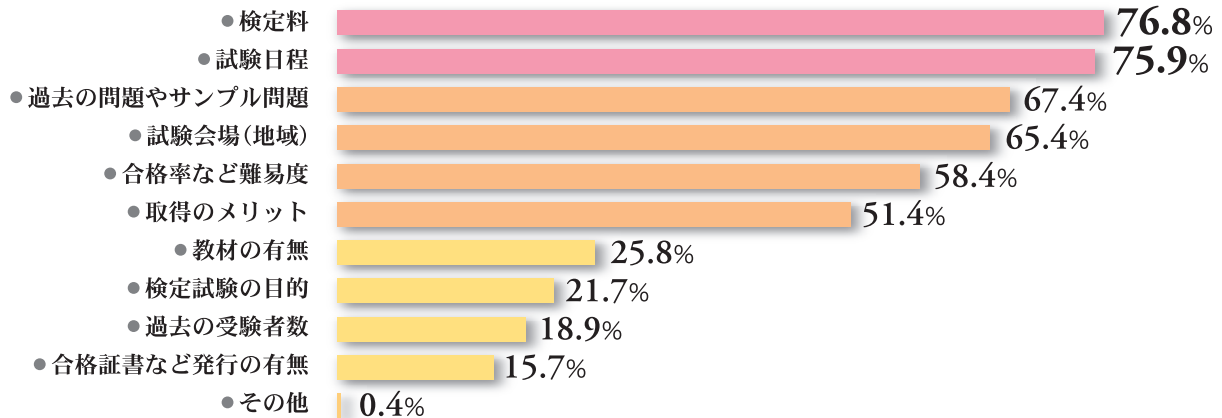


■パンフレットやHPに記載されていると信頼できる項目

『検定試験のパンフレットやホームページに記載されていると信頼できると思う項目』という問いに対する結果です。（複数回答）



■受験するにあたって事前に知っておきたいこと (複数回答)



■検定実施団体に情報公開してほしいこと (複数回答)

